

【別紙 1】

第 9 号様式(第 8 条関係)

政務活動費収支報告書

令和 4 年 3 月 3 1 日

神埼市議会議長 中野 均 様

住所又は所在地団体の名称

新風会

議員氏名又は経理責任者氏名

山本 千佳 印

令和 3 年 4 月 7 日付、神埼市議会第 7 号で交付決定を受けた政務活動費の収支報告書を神埼市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第 7 条に基づき、別紙のとおり提出します。

添付書類

- (1) 事業成績書
- (2) 収支決算書
- (3) 領収証書
- (4) 領収証書を徴することが困難な場合は会派代表者又は議員の支払証明書
- (5) その他 ()



【別紙2】

事業成績書（令和3年度）

事業実績	令和3年11月24日(水)・25日(木)の間の研修報告。 第1日目 令和3年11月24日 後援会及びワークショップに参加 ○自衛隊の災害派遣活動について ○災害に強い社会を実現する土木研究所新技術 水害対応 ヒヤリ・ハット事例集(地方自治体編) ・地すべり災害対応のBIM/CIMモデル ・既設アンカー緊張力モニタリングシステム ・大変位対応型孔内傾斜計 第2日目 令和3年11月25日 後援会及びワークショップに参加 熊本地震の経験を活かした災害対策の取り組みについて その他、避難・備蓄・火災・救助対策・防災・災害対応・安全対策等について、ワークショップがあり、説明を受けた。
成果	先進建設・防災・減災・技術フェア in 熊本2021 講演会では、自衛隊の災害派遣活動及び熊本地震の経験を経験した際の現場での問題点、課題(ヒヤリ・ハット事例)等が挙げられ、事前訓練・研修・検証を行うことの大切さや、現地での柔軟な対応の必要性を感じた。 本市においても、災害対策の見直しや検証の必要がある。 備蓄品や非常食等においても、工夫がされていて参考になった。 いざという時に使用できないということのないように、日ごろから準備しておくことの重要性を再認識した。

令和3年12月4日

新風会研修報告書

1 目的 先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本2021

2 期間 令和3年11月24（水）～25日（木）

3 研修先 グランメッセ熊本
熊本県上益城郡益城町福富1010

4 研修結果

1.1日目 講演会「自衛隊の災害派遣活動について」

講師 自衛隊熊本地方協力隊本部 本部長 橋本 賦

2日目 講演会「令和2年7月球磨川水害の実態と課題について」

講師 熊本大学 特任教授 大本 照憲

2. 出展物見学及び説明聴取

5 研修を終えて

1日目の自衛隊災害派遣部隊の説明を聞いたが、特に大規模災害が発生した場合、地域の自治体や県の職員では手に負えない状態なので、組織的でなおかつそれに見合った装備が必要となり、また、多くの人手が必要となることからそれに対応できる組織としては、自衛隊や警察、消防署が対応するしかない。特に、自衛隊は即応の応力があり、人的にも、設備面でも対応力があることが説明を聞くことで納得できる。

さらに、近年では大規模災害が毎年のように続いていることから、対応の仕方も全国的にでき、支援専門の装備も所有していることからますます自衛隊の必要性が伺えた。また、緊密なる連携対応が必要だと思った。

2日目の講演は昨年の球磨川災害の状況及び発生原因がよくわかった。災害発生の一歩の原因は、その地域の地形がどうなのか。それが最大の要因と思える。逆にいえば、その土地の地形を十分に研究し、過去にどのような災害が生じたか調べればこれから起こるであろう災害をある程度予測することができるのではないかと。

その可能性があるならば、神崎市全体の地形を前もって把握し、過去の災害を調べ、被害の状況や対応がなされたかを調査することで、おのずと予防、発生時の対応等が可能ではないのか。また、被害を最小化できるのではないかと。

とはいえ、災害は予測ができないし、いつ起きるかもわからない。それでも、これまで発生した自然災害を調べ、神崎市の地形と似た地形を持つ地域で発生した自然災害を調査し、どのような対応がなされたかを前もって調べておき、どのような対応をとるかについてシュミレーションしておけば、いざという場合、ある程度は被害を軽減できるのではないだろうか。

出展物の見学をし、説明を受けたが、現在神崎市に備蓄されている非常用品でも、また違ったものが開発されている。例えば、非常用簡易ベッド。現在、神崎市では段ボールのものがあるがこれが1セット当たり約10kgあるので1人で手軽に持ち運び出来ないし、また、水にぬれた場合、再度利用するのが困難なのではないか。また、再利用する際に消毒も簡単にはできないのではなかろうかと思う。でも、展示されていた簡易ベッドは、ポリプロピレン製で丈夫でしかも軽い。さらに、アルコールで簡単に拭くことで消毒もできるといった製品だった。また、避難所用のスポット空調機は、冷房も暖房もでき、さらに移動ができる上に発電機（LPガスとガソリン使用可）セットにすれば停電時や電源の確保が困難な場所でも使用が可能である。

私が一番気にいったのは、揖保乃糸製麺が出展していた乾麺のそうめん。フリーズドライ製法でお湯を注ぐだけで食べられる商品が出展されており、試食させてもらったが、味もしっかりしていた。また、スープ、箸、紙容器もセットされており、しかも賞味期限が5年の防災食だ。神崎もそうめんの町と言っていることからそのような商品を開発し、売り出せばどうかと感じた。

このように毎年出展品も変わっていることから、新しい情報を知ることにより良い状況で災害時の対応することが必要ではないかと痛感した。

吉田 守

新風会 会派研修報告書

期 日: 令和3年11月24日(水)3:37~25日(木)

出 先: グランメッセ熊本

出張用務: 先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2021

人流・物流生産性向上フェアin熊本

研修内容 令和3年11月24日(水) AM10:45~11:45

○自衛隊の災害派遣活動について

自衛隊熊本地方協力本部 本部長 橋本 武氏

○災害に強い社会を実現する土木研究所新技術

国立研究開発法人 土木研究所

①水害対応ヒヤリ・ハット事例集(地方自治体編)

(国研)土木研究所ICHARM 主任研究員 大原 美保氏

②地すべり災害対応のBIM/CIMモデル

既設アンカー緊張力

モニタリングシステム(Ak i -Mos)

大変位対応型孔内傾斜計

(国研)土木研究所 土砂管理研究グループ

地すべりチーム上席研究員 杉本 宏之氏

令和3年11月25日(木) AM11:00~12:00

熊本地震の経験を活かした災害対策の取組みについて

熊本市上下水道局 計画調整課 技術主幹兼主査 神崎 陽介氏

自衛隊の災害派遣活動及び熊本地震の経験を活かした災害対策の取組みについて、講師より現場での対応や問題点、課題に説明され、現地での柔軟な対策が必要との報告があり即時に対応できるか、事前の訓練・研修を行う必要性を感じて、当市でも早急な研修を行うようにするべきと感じた。

※ コンパクト収納型簡易トイレ、簡易組み立てベッド、LPガス&ガソリン小型発電機や熱中症対策対策を解決する強力スポットエアコンなど多種の防災機器があり、災害対応に応じた機材の検討が必要であり、早急な検討を行い必要がある。

上記のとおり、報告します。

神崎市議会議員 中野 均



令和3年度 新風会 研修報告

山本議員

日程：令和3年11月24日(水)・25日(木)

研修先：先進建設・防災・減災・技術フェア in 熊本2021 会場：グランメッセ熊本

令和3年11月24日 (1日目)

【災害に強い社会を実現する土木研究所新技術】

・水害対応ヒヤリハット事例集

地すべり災害対応のBIM/CIMモデル

・設アンカー緊張力モニタリングシステム

大変位対応型孔内傾斜計

令和3年11月25日 (2日目)

【令和2年7月球磨川水害の実態と課題について】

その他、避難・備蓄・火災・救助対策、防災・災害対応・安全対策、維持管理・予防保全・環境
(リサイクル)についてのワークショップに参加した。

平成21年から30年までの10年間では、全国の市町村の97%で1回以上の水害が発生している中、神崎市においても、洪水や土砂災害による被害が頻発している。今後、洪水や土砂災害による被害に対してどのような対策を講じたらよいのかを、熊本地震、球磨川水害の実態と課題の検証から取り組むべきことを学んだ。

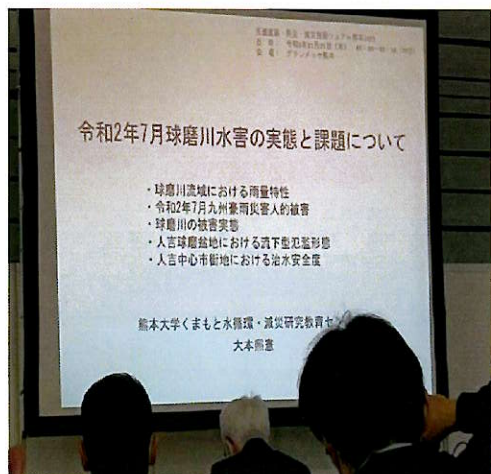
令和2年6月に国立研究開発法人 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センターが作成している「ヒヤリハット事例集(地方自治体編)」では、

- 1、初動
- 2、本部運営
- 3、庁内体制
- 4、情報収集
- 5、関係機関との連携
- 6、警戒

レベル4 避難勧告等の発令 7、情報伝達 8、避難所等

それぞれにおいての事例、災害概要、ヒヤリハット、教訓、留意事項、関連するガイドライン等が記載しており、非常に参考になるものであった。

迅速かつ的確な災害対応の実施や、今後人口が減少していくことを踏まえての政策も必要であると感じた。



【別紙3】

政務活動費収支決算書

(令和3年度)

1 収入

単位：円

科目	予算額	決算額	適用
政務活動費	940,000	940,000	
その他	0	20,000	R4.3変更交付決定 吉田議員分
計	940,000	960,000	

2 支出

単位：円

科目	予算額	決算額	適用
調査研究費	100,000	0	
研修費	400,000	88,280	
会議費	20,000	0	
資料作成費	0	0	
資料購入費	30,000	105,000	新聞購入補助
広報費	90,000	0	
事務費		0	
事務費（通信費）	300,000	220,486	携帯補助
計	940,000	413,766	

【別紙3-①】

支 出 明 細 書

科目	支払年月日	内容	支出金額 (円)	支払先	備考
研修費	令和3年11月24日	行政視察(11月24日～25日) 先進建設・防災・減災技術フェアin熊本	86,600	アーヴントラベル他	
研修費	令和3年11月24日	行政視察(11月24日～26日) 先進建設・防災・減災技術フェアin熊本 神埼駅⇄新鳥栖駅 560円×3名	1,680	会派議員3分	中野560円 山本560円 吉田560円
資料購入費	令和3年9月3日	新聞代補助 令和3年4月～令和3年9月分	54,000	会派議員3分	中野18,000円 片江18,000円 吉田18,000円
資料購入費	令和3年12月17日	新聞代補助 令和3年10月～令和4年3月分	36,000	会派議員2名分	中野18,000円 片江18,000円
資料購入費	令和3年12月17日	新聞代補助 令和3年10月～令和4年2月分	15,000	会派議員1名分	吉田15,000円
事務費(通信費)	令和3年9月3日	携帯電話通話 令和3年4月～令和3年9月分	114,848	会派議員4名分	中野30,000円 片江30,000円 吉田24,848円 山本30,000円
事務費(通信費)	令和3年12月17日	携帯電話通話 令和3年10月～令和4年3月分	90,000	会派議員3名分	中野30,000円 片江30,000円 吉田30,000円
事務費(通信費)	令和3年12月17日	携帯電話通話 令和3年10月～令和4年2月分	15,638	会派議員1名分	吉田15,638円
合計			413,766		